

子ども一人ひとりが 幸せに生きられる社会とは

—共に生きる地域の力を育む—

- 日 時：2019年12月17日(火) 13:00~16:10
- 会 場：神奈川公会堂 (JR 東神奈川駅下車4分)
- 参加費：800円(資料代含む) (学生/400円) *託児あり

基調講演

教育と子どもの未来を語る



今、教育現場では、政治的意向や経済優先、競争・学歴重視の方向性が強まる中で、子どもたちが疎外される状況が起きています。誰もがいつでも教育を受けられる権利、学習権を保障し、子どもの学びを豊かにする教育の理念・理想、そして生きる力を育む環境整備、現在進められている教育改革の課題についてもお話を伺います。

講師：前川喜平氏(現代教育行政研究会代表、前文部科学省事務次官)

トークセッション

子どもがいきいきと生きられる地域社会への展望

—子どもの希望を育む地域の力—

本来の意味の教育は、学校だけでなく家庭はもちろん、地域社会の役割もあります。次の時代を担う子どもたちと向き合い見守り、孤立させない地域社会の力を育むには、私たち一人ひとりがどのような行動に結びつけて行ったらよいか、議論します。

パネラー兼コーディネーター

加藤彰彦氏
(沖縄大学名誉教授)



パネラー

小田鈴子氏
(公財)かながわ生き生き
市民基金理事、
元逗子市副市長)



湊岳美氏
(スクールソーシャルワーカー、
社会福祉士・精神保健福祉士)



コメンテーター

前川喜平氏

主催「研究フォーラム2019」実行委員会

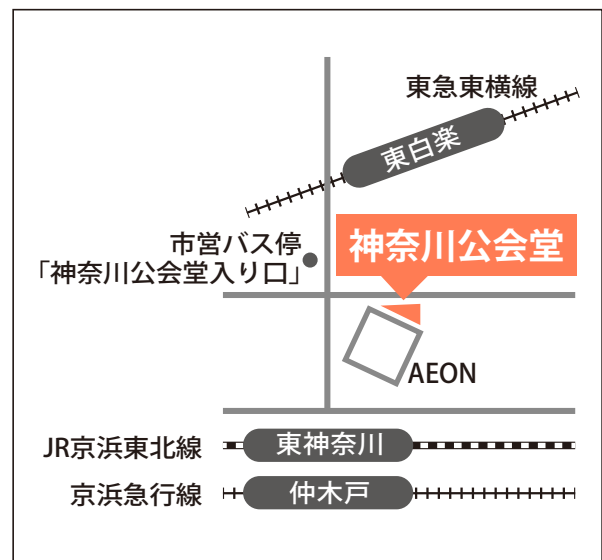
実行委員会構成団体：中央労働金庫神奈川県本部、こくみん共済coop<全労済>神奈川推進本部、JA神奈川県中央会、神奈川県漁業協同組合連合会、神奈川県生活協同組合連合会、公益社団神奈川県地方自治研究センター、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生協、福祉クラブ生協、労協センター事業団神奈川県事業本部、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会、NPO法人WE21ジャパン、社会福祉法人いきいき福祉会、女性・市民コミュニティバンク、オルタスクエア株式会社、ワーカーズ・コレクティブ共済株式会社、NPO法人参加型システム研究所

フォーラム開催趣旨

子どもは、いつの時代も、現実を越え「未来」を切り拓いていく「希望」の象徴であり、可能性への期待が込められている存在です。

しかし、最近子どもたちをめぐり、貧困や虐待、いじめ、不登校、引きこもり、スマホ依存などの様々な問題や、悲惨な事件が相次いでいます。また、ユニセフの「幸福度調査」では、日本の子どもたちが孤独を感じる割合は、先進国の中で飛びぬけて高いという報告があります。こうした現状に対し、子どもたちの希望や幸せを阻むものは何かについて、教育と地域社会からの視点で検証し、私たち一人ひとりが考え、行動に結びつけていくことが急務の課題となっています。

子どもにとって欠くことのできない重要なものは、衣食住の保障と豊かな人間関係、そしてさまざまな生活体験や文化的経験によって生きる力を養うことにあると言われています。「研究フォーラム2019」では、子どもが幸せに生きられる社会をテーマに、現在進められている教育改革などの課題を共有しつつ、子どもたちを見守りともに生きる地域の力を育むことをとおして、子どもを大切にする社会に向けた歩を進めるために、参加者がともに語り合う場とします。



フォーラムへの参加申込み

FAXまたはメールにてお申し込みください。

申し込み締め切り:12月5日

FAX:045-222-8721 e-mail:sanka@systemken.org

* 託児(無料)あり。託児申し込み締め切りは11月29日

※生後6ヵ月から未就学児のお子さんをお預かりします

お名前		保育	()人()歳
所属			
ご連絡先			

*受け付け確認の返信はいたしません。当日会場にお越しください。